

# HIDWR

## 兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 2024年第30週(7月22日~7月28日) 兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康科学研究所)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減	
	今週	先週				今週	先週		
インフルエンザ	0.33	0.26	+0.07	↑	手足口病	11.65	12.22	-0.57	↓
COVID-19	15.36	13.05	+2.31	↑	伝染性紅斑	0.02	0.03	-0.01	↓
RSウイルス感染症	2.08	2.21	-0.13	↓	突発性発しん	0.22	0.16	+0.06	↑
咽頭結膜熱	0.36	0.28	+0.08	↑	ヘルパンギーナ	1.26	1.43	-0.17	↓
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.59	1.71	-0.12	↓	流行性耳下腺炎	0.04	0.12	-0.08	↓
感染性胃腸炎	3.71	3.58	+0.13	↑	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	±0.00	→
水痘	0.12	0.09	+0.03	↑	流行性角結膜炎	0.80	0.26	+0.54	↑

基幹定点の罹患数: 無菌性髄膜炎 1人(0.07人)、マイコプラズマ肺炎 31人(2.21人) ※括弧内は定点あたりの患者数

### COVID-19(新型コロナウイルス感染症)に関する情報

#### COVID-19(新型コロナウイルス感染症)

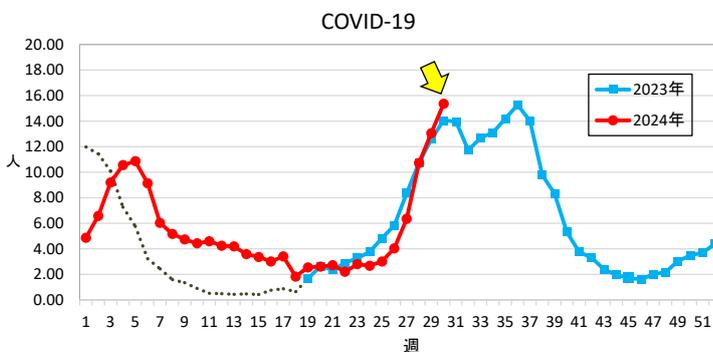
兵庫県内の定点あたり患者数は今週 **15.36人**(先週 13.05人)となり、増加しました。

地域別では福崎保健所管内が49.50人と最も多く、朝来保健所管内32.67人、赤穂保健所管内27.33人、豊岡保健所管内22.25人となっており、年齢別では、10~19歳が14%と最も多く、40~49歳、50~59歳及び70~79歳が11%となっています。

また、社会福祉施設等においては、今週14件(先週14件(修正有))の集団発生が報告されています。

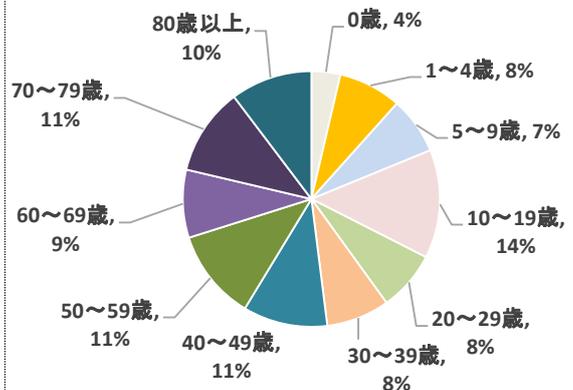
県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。

#### 兵庫県内の定点当たり報告数推移



2023年18週以前の数値はHER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数(参考値)(国の提供データに基づく)

#### 新規感染者の年齢階級別割合(第30週)



※2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は定点把握に変更になりました。

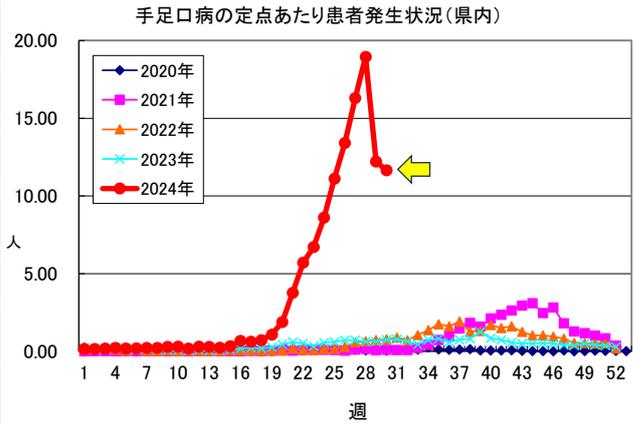
### 手足口病

定点あたり患者数は今週 **11.65 人** (先週 12.22 人) と減少しました。地域的には、県内 17 保健所管内中、16 保健所管内で定点あたり患者数が警報レベルとなっています (丹波保健所管内を除く)。

直近の 5 週間に県内の定点医療機関から報告された患者 9,358 人 (累計) の年齢分布では、1 歳 25%、2 歳 19%、3 歳 15%、4 歳 13% の順で多く、0~4 歳が全体の 80% を占めています。

主要な原因ウイルスはエンテロウイルスで、年により、流行する型に変動が見られます。

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染などです。保育園や幼稚園などの乳幼児施設では、手洗いの励行と排泄物の適正処理が感染予防の基本です。

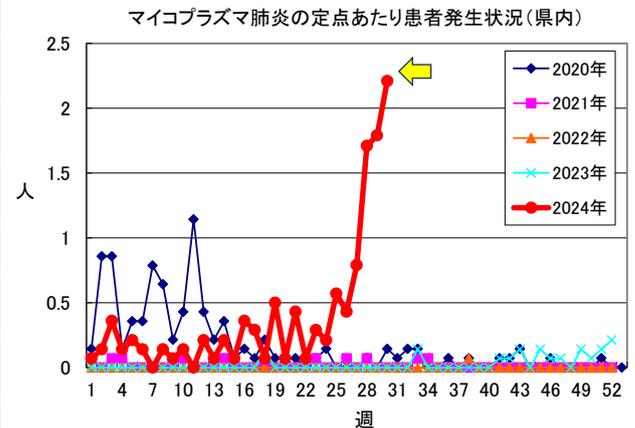


### マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **2.21 人** (先週 1.79 人) と増加しました。地域的には、加古川保健所管内で 14 人、神戸市で 11 人、丹波保健所管内で 4 人の患者が、基幹定点 (300 床以上の病院) から報告されています。

直近の 10 週間の患者 119 人 (累計) の年齢分布は、5~9 歳 42%、10~14 歳 41%、0~4 歳 12% の順で多く、20 歳未満が全体の 98% を占めています。

飛沫感染が主な感染経路の肺炎で、頑固で長期にわたる咳が特徴です。予防対策として、患者との濃厚な接触を避け、手洗い、うがいなどを励行することが重要です。



## 全数把握感染症

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 23 人</b> (保健所: 神戸市; 18 人、姫路市 1 人、西宮市 3 人、加東管内 1 人)
3 類感染症	<b>細菌性赤痢 1 人</b> (神戸市; 女性 20 歳代; 感染地域: ネパール; 感染経路: 不明) <b>腸管出血性大腸菌感染症 7 人</b> (①神戸市; HUS; 女性 3 歳; O157 VT2; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 接触感染、②姫路市; 有症者; 女性 20 歳代; O157 VT1VT2; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 経口感染、③西宮市; 有症者; 男性 10 歳代; O157 VT2; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 経口感染、④明石市; 有症者; 女性 10 歳代; O157 VT1VT2; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 経口感染、⑤伊丹保健所管内; 無症状病原体保有者; 女性 30 歳代; O 不明 VT1VT2; 感染地域: 国内; 感染経路: 不明、⑥加古川保健所管内; 無症状病原体保有者; 女性 10 歳代; O157 VT2; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 不明、⑦洲本保健所管内; 有症者; 女性 70 歳代; O111 VT1; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 不明) (累積報告数 47 人; 有症者 32 人、HUS 3 人)
4 類感染症	<b>重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 1 人</b> (姫路市; 男性 60 歳代; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 動物・蚊・昆虫等からの感染) <b>レジオネラ症 1 人</b> (姫路市; 肺炎型; 男性 40 歳代; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 水系感染)
5 類感染症	<b>アメーバ赤痢 2 人</b> (①神戸市; 腸管アメーバ症; 女性 40 歳代; 感染地域: 国内; 感染経路: 不明、②尼崎市; 腸管アメーバ症; 男性 60 歳代; 感染地域: 国内; 感染経路: 性的接触)

**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1人**（神戸市；男性 50 歳代；*Klebsiella aerogenes*；感染地域：兵庫県；感染経路：以前からの保菌）

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人**（加古川保健所管内；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）

**侵襲性肺炎球菌感染症 3人**（①尼崎市；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：1 回有、②姫路市；女性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、③加古川保健所管内；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無）

**梅毒 10人**（①神戸市；早期顕症梅毒 I 期；男性 30 歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；無症状病原体保有者；男性 30 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明、③神戸市；早期顕症梅毒 II 期；女性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、④尼崎市；早期顕症梅毒 II 期；男性 50 歳代；感染地域：不明；感染経路：異性間性的接触、⑤姫路市；無症状病原体保有者；女性 20 歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、⑥姫路市；無症状病原体保有者；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑦伊丹保健所管内；早期顕症梅毒 I 期；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑧宝塚保健所管内；早期顕症梅毒 I 期；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑨加古川保健所管内；無症状病原体保有者；女性 50 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑩加東保健所管内；無症状病原体保有者；女性 10 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触）

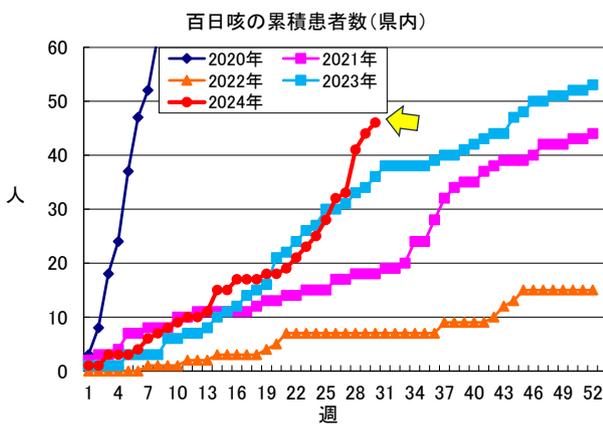
**百日咳 2人**（①姫路市；男性 10 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、②宝塚保健所管内；女性 10 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：その他；ワクチン接種歴：4 回有）

2024年29週までに診断されたものの報告遅れ

**結核 2人**  
**梅毒 5人**

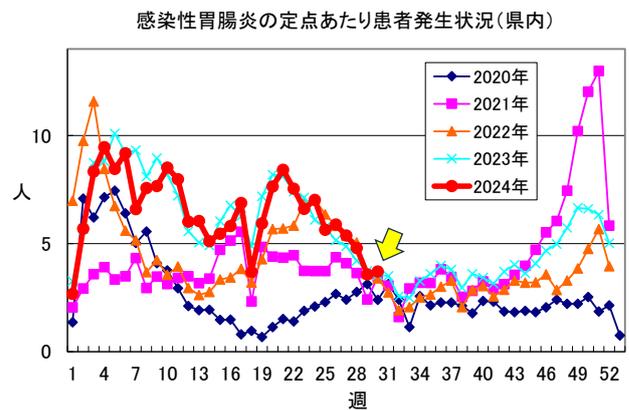
目で見える動向（県内）

百日咳



今週 2 人の報告があり、今年の累積患者数は 46 人となりました。

感染性胃腸炎



定点あたり患者数は、今週 3.71 人（先週 3.58 人）と増加しました。今週 1 件（先週 0 件）の集団発生が報告されています。

この週報はホームページ ([https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho\\_jyoho/infectdis.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html)) にも掲載しています。

2022年4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報 (IDWR) がダウンロードできます。